

特定非営利活動法人 東海自然学園  
平成27年度 総会議案書

日時：平成27年6月17日（水）13時半  
会場：田代コミュニティーセンター

議事次第

- 1、 開会式
- 2、 代表理事挨拶
- 3、 議長選任
- 4、 審議事項
  - 第1号議案 平成26年度事業報告の件
  - 第2号議案 平成26年度収支決算報告の件
  - 第3号議案 平成27年度事業計画の件
  - 第4号議案 平成27年度収支予算計画の件
  - 第5号議案 平成27年度役員選任の件
- 5、 質疑及び討論・採決
- 6、 閉会

## <第1号議案>

# 平成26年度事業報告

(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

### 【平成26年度方針】

- 学園をあげて10周年を盛り上げよう。

上記の年度方針を念頭に、創立10周年を意識し各部や科において学園を盛り上げた。東海シニア自然大学の10周年という記念すべき年であるため、基礎科70名の定員を満たして節目を迎えたいという想いで広報に力を入れ、目標を達成し70名で10周年を迎えることができた。また、新規事業科を中心に企画し開催した「創立10周年記念式典」においては、予想を上回る多くの来場があり、10年間の実績を多くの人に披露することができた。

## ① 自然活動リーダーの養成講座事業

### 東海シニア自然大学 講座部

#### ■基礎科

花組35名、星組35名の受講生でスタート。合宿・学園祭・修学旅行を含め、全30回の講座を実施した。

#### ◇実施日

- ・花組 第1・第3金曜日
- ・星組 第2・第4金曜日

#### ◇担当

- ・花組 スタッフ4名、アシスタント2名
- ・星組 スタッフ4名、アシスタント2名

#### ◇修了者・皆勤者数

- ・花組 33名 ◎1年間皆勤13名
- ・星組 34名 ◎1年間皆勤9名

#### ◇資格取得者（自然観察アドバイザー）

- ・花組（25名） ・星組（11名）

#### ◇内容報告

- ・両クラス共に事故や体調不良などなく安全に運営することができた。
- ・4月の講座でバスの手配ミスがあり講座時間が遅れるという事態があった。今後はそのような事がないよう、全スタッフで確認することを徹底した。
- ・花組の「海辺の生きもの」は台風の接近にともない、安全を考慮し日程を変更した。
- ・「野鳥入門」の講座では、野鳥の姿を実際に観察することが難しく、もう少し多様な野鳥を観察したいとの要望が多かったため改善を検討。その結果、今年度より「干潟の野鳥」という新たな科目名にし、フィールドや講師を変更した。干潟では安定して数種類の野鳥や渡り鳥が観察できるため、以前より観察できる鳥の種類が増え、大きな望遠鏡を使用できる点も好評だった。講座内容を講師と相談しながら来年度も継続する。
- ・多くの人が環境教育事業や自然保護事業の実習に参加し、自然観察アドバイザーの資格を取得した。
- ・委員会活動はそれぞれのリーダーを中心にまとめ、様々なアイデアの中で目的を達成した。

### 【企画委員会】

- ・ **花組** 〈日帰り企画〉 9/12 東山植物園ガイド付き観察会・懇親会 (25名参加)  
〈修学旅行〉トヨタ白川郷自然学校にてナイトウォークや雪の森ウォーク (27名参加)
- ・ **星組** 〈日帰り企画〉 9/19 名古屋港水族館の見学・懇親会 (25名参加)  
〈修学旅行〉渥美半島前浜にてアカウミガメ保全活動体験、神島散策他 (25名参加)

### 【観察記録委員会】

- ・ 両クラスともに個人の観察記録を立派な冊子に仕上げ、報告会にて発表した。

### 【学園祭委員会】

両クラスともにクラス全体で取り組み、ステージ発表、展示、ワークショップに挑戦した。学びを活かした内容は、どれも完成度の高いものだった。また、工夫を凝らしたワークショップには時間いっぱい参加者が集まり、大好評だった。

- ・ **花組** 〈ステージ〉『自然に学ぶ楽しみ』班毎に研究テーマを決めクイズや劇・映像で発表。  
〈展示〉『自然に学ぶ楽しみ』各班で研究、調査した結果の写真や実物を展示。  
〈ワークショップ〉『童心に戻る、自然工作！』木の実や枝を使ったクラフト教室。
- ・ **星組** 〈ステージ〉『守るぞ自然！今も、これからも。』班毎の視点でクイズや劇を発表。  
〈展示〉『工作や植物画、シニアだってワクワクドキドキ』全員の作品を展示。  
〈ワークショップ〉果実や野菜をモデルにした絵手紙の体験教室。

## ■高等科

36名の受講生でスタートし合宿・学園祭・修学旅行を含めて全30回の講座を実施した。

◇実施日 火曜日

◇担当 スタッフ5名

◇修了者数

- ・ 36名 (全員修了) ◎2年間皆勤者 (3名) ◎1年間皆勤者 (5名)

◇資格取得 (自然観察上級アドバイザー)

- ・ 19名

◇実施内容

- ・ 「森林保全を学ぶ」の講座で1名がノコギリで負傷したが、病院での処置を行い大事に至らず。その他は事故などなく実施することができた。
- ・ これまでの受講生の声や講師の都合などにより、3科目を新しく変更した。
  - ①「植物を知る」植物のカタチに棲むムシ  
これまでにない視点から植物を観察でき、好評だったが講師の都合で今年度限り。
  - ②「身近な哺乳類」コウモリの生態を学ぶ  
観察できたコウモリが少なかったため、時期を再検討し継続する。
  - ③「淡水魚の世界」魚を通して自然の姿を考える  
熱意ある講師の解説は分かりやすく、受講生からの評価も高く今後も継続する。
- ・ 「インタープリテーション」は講師 (萩原氏) の提案により、動物園をフィールドにした新たな視点からの内容に変更。大変好評であり今後も継続する。
- ・ 合宿のリーダーミーティングでは、講座体制について様々な意見や提案、要望などをいただいた。
- ・ 委員会ほどの委員会も熱心に取り組み、それぞれの目的を達成することが出来た。

### 【企画委員会】

- ・ (日帰り企画) 9/16 アクアトトぎふ、自然発見館にて座学やクラフト体験。(33名参加)
- ・ (修学旅行) 北八ヶ岳ロープウェイ、蓼科高原、尖石縄文考古館 他 (30名参加)

### 【観察記録委員会】

- ・ 『自然』を全体テーマにし、班ごとにまとめた。  
A班) 美しい自然観察 B班) 自然の不思議 C班) 身近な自然を楽しもう  
D班) 自然との出会い

### 【学園祭委員会】

- ・ 〈ステージ〉『タネたちの知恵袋』劇や歌などで様々な種の特徴を発表。

- ・〈展示〉『自然と自然に遊ぼう』木の実や蔓、葉などを使った様々な作品を展示。
- ・〈ワークショップ〉『マツボックリと遊ぼう』木の実や種で飾り付けを楽しむ工作体験。

## ■カリキュラム選択科

今年度は高等科受講生が 36 名であり、選択科希望者を含め 40 名を最大人数としているため、選択科受け入れは最大 4 名。人気講座では抽選し落選者もあった。各参加人数は以下の通り。

- ・「湿地を知る」 2 名
- ・「身近な森林から学ぶ」 2 名
- ・「植物を知る②」 4 名 ★
- ・「身近な哺乳類」 3 名 ★
- ・「淡水魚の世界」 4 名 ★
- ・「地質めぐり」 3 名
- ・「インタープリテーション①」 3 名
- ・「中部の植物観察②」 1 名
- ・「どんぐりを知る」 3 名
- ・「地質と文化」 2 名

※注) ★印が新しい講座

## ■専修科

◇担当 3 名

### ◇実施内容

- ・計画通り合計 6 講座、延べ 1 1 日の講座を開催した。(内宿泊を伴う講座 2 回)
- ・前年に比べ、1 講座廃止し、2 講座追加、継続講座も内容を一部変更した。
- ・受講者は延べ、4 3 名。内年間通期受講者は 6 名。
- ・延べ定員 2 2 0 名に対し、受講生は 1 9 6 名。
- ・全体を通して無事故で終わることができたが、今後の課題として、悪天候下での安全確保等リスクマネジメントの強化を図る必要がある。
- ・来年度は高等科への PR を、より強化したい。

## 広報

◇担当 4 名

◇方針 積極的に新しい広報策を模索し、実践する。

◇目標 (1) 戦略的広報活動を目指し、第 12 期生 70 人確保する。  
(2) 「営業活動」に挑戦し、広く東海自然学園を PR する。

### ◇実施内容

- (1) ホームページの内容を見直し、トップページの「お知らせ」を充実させ「よくある質問」のページも新たに加えた。
- (2) より手軽に持参し配布できるよう、初めて A5 サイズの「ミニパンフレット」を、1,000 部作成。持ち歩くには良いと好評だった。
- (3) 過去の申込者データを分析し、地域ごとの傾向などを調査した。
- (4) 新聞社(中日・朝日)への掲載依頼、テレビ局(NHK)への取材依頼など積極的に行い、担当者との関係を築くことができた。(観察会、学園祭や式典の記事が掲載された)
- (5) 体験入学を 2 回に増やした。(内容も好評だった)
- (6) 「よくある質問」をパンフレット用に項目を増やし改訂版を作成した。
- (7) 広告を 2 回中日新聞に掲載したが、前年度と比較すると反応が薄かった。
- (8) パンフレットを郵送した施設を見回り、設置確認や補充をする予定だったが 20% ほどしか実践できなかった。(担当以外のスタッフの協力も得た)

以上、新しい試みを含め様々な方法で広報活動を行ったが、目標の 70 名に届かず、12 期生申込は 61 名だった。

## ② 普及啓発事業

### 環境教育部

#### ■環境教育科

◇担当 5名

◇科員 31名

◇26年度方針

アウトプットは無理をせず、インプット（吸収！）に力を入れる1年とし、インプット（吸収）したものを、新しい成長に繋げる！

◇26年度の年間目標

- ① 互いの技術や知識を高め合うための、学習会やアイデア会議などを積極的に取り入れる。
- ② より多様な自然素材を、良い状態で収集し、保存する。（その方法を学ぶ、探る、研究する）

◇実施内容

- ・定例活動・・・14回（特別活動1回含む）
- ・参加イベント（12日間）
  - ①戸田川緑地公園「花まつり」5/5～5/6
  - ②大曽根七夕まつり 7/25～7/27
  - ③戸田川緑地公園「ヒマワリまつり」8/23～8/24
  - ④戸田川緑地公園「秋まつり」10/11～10/13
  - ⑤大曽根クリスマス 12/15
  - ⑥科学館ワークショップ 2/22

◇目標の達成度

#### ●年間目標①について

- ・昨年度より毎回「個々のアイデアや新作発表」の時間を設けるようになり、積極的な作品発表者が増え、新しい作品のアイデアに繋がった。→「ひっくりカエル」他
- ・個々のアイデアを大切に、失敗して終わりではなく、なぜ失敗したのか、どうすれば上手くいくのか等、ひとつの作品について考える時間を作ることができた。→ひょうたん CAR、キツツキなど
- ・学習会は1回のみの実施で技術向上や知識の吸収の機会が少なかった。

#### ●年間目標②について

- ・イベントに向けての準備や本番に時間を割かれ、素材集めや研究などを行う時間を持つことができず、目標達成には至らなかった。

#### ●今後の課題

- ・「環境教育」について再度皆で考えた結果、環境教育＝クラフトとなっている現状を見直し、もう少し違った手法も使って、自然の魅力や大切さを多くの人に伝える事への挑戦。
- ・現在のやり方（毎月1回の定例活動）では、自分たちの技術向上や作品の研究、素材確保などの時間が作れないため、定例活動日の増加。
- ・作業に追われて1年が終わるのではなく、年間計画をしっかりと立て計画的に作業を進める。
- ・素材の整理整頓と作業場の確保。

## ③ 調査研究事業

### 研究部

#### ■自然観察科

レギュラーコース4年卒業制を導入し、「レギュラーコース（在籍4年以下）」と「キャリアコ

ース（在籍5年以上）」に分割してそれぞれに運営。

#### レギュラーコース

- ◇実施日 第2・4月曜日
- ◇担当 2名
- ◇会員数 42名
- ◇活動内容 全21回実施（雨天中止：1回）

年間通しての活動への参加率は85%であり、充実した活動であった。

- ・座学：10回…「道端の雑草」「つる植物」「なにこれ!」「紅葉植物」など
- ・フィールド：11回…「築水の森」「御在所」「上高地」「海上の森」など

#### キャリアコース

- ◇実施日 原則として第2・4月曜日
- ◇担当 1人
- ◇人数 12名
- ◇実施内容

- 全27回の講座実施→フィールド（12回）座学（1回）観察会、受託講座など（14回）
  - ・フィールド：八曾、鎌ヶ岳、面の木峠、くらがり溪谷、七宗、高峯山、夜叉が池、高山、柿其溪谷、熊野古道、熱田神宮
- 一般対象天白公園自然観察会（天白公園整備クラブと共催）を4回実施。
- 基礎科の講座を受託
  - ・テーマ「冬の森の観察」
  - ・場所：海上の森、山口公民館
  - ・実施日：2/13（星組）、2/20（花組）

#### ◇総括

- ・新しい試み、天白公園スタンプラリーを含め当初計画通り実施できた。

### ④政策についての企画提案事業

#### 事業部

##### ■新規事業科

- ◇担当 6名

#### ◇年間目標

- ・10周年記念式典の成功を今年度の第一の目標とし、多くのOBや一般の方にご来場いただけるよう努力、工夫する。
- ・10年を皆で振り返ると共に、10年の歴史が次なる発展に繋がる様な仕組みをつくる。

#### ◇実施内容

- ・前年度の新規事業科から引き継ぎ、「創立10周年式典」を無事に開催。444名もの来場があり大盛況だった。  
（来賓17名、一般参加99名、卒業生215名、在学生91名、スタッフ22名）
- ・担当スタッフの中で得意分野を活かし、それぞれの役割を分担して式典に向けて準備を進めることができた。
- ・記念式典においては、予定していたこと（記念講演会、OB活動最前線、10年の軌跡スライドショー、缶バッジ作成、記念冊子発行）のすべてを実現することができ、また多くの方から高評価を頂いた。
- ・来場者より3名が12期生に申込み、退会者の再入会など会員の増員にも繋がった。

#### ◇その他の実施事業

- ・9/13名古屋市主催「環境デーなごや」ブース出展・・・樹木標本の展示やクラフト体験

- 9/6 長久手市受託事業「香流川水生生物調査」・・・参加者（20名）生きもの観察と解説。
- 10/25「人と自然の共生国際フォーラム」ブース出展・・・参加者（22名）竹工作の指導。

## 交流部

◇担当 5名

◇目的 OB会員の活性化と交流を目的としたプログラムを企画、実施する。

◇実施内容

- 各クラスからの編集委員と担当スタッフとで編集会議を開き「あらくさ」を仕上げ、計画通り年4回発行することができた。
- OB交流の企画は、10周年記念式典などがあったため今年度の実施は見送った。
- クラブ長会議を開催。クラブ活動にともなう安全管理や報告事項の確認を行い、各クラブからの報告や相談などの時間を設けた。
- クラブでは「句詠クラブ」が新たに発足し全8クラブが安全に活発に活動を行った。下記、各クラブの活動報告。

### ①野鳥クラブ

■現登録者数 31名 ■会費 1,000円

■活動方針

- 探鳥会は年に四回開催を計画する。
- 内容は探鳥観察を中心とする企画に、植物を楽しむ散策を織り交ぜる。
- 探鳥会には適宜案内人を依頼する。
- 日本野鳥の会（愛知県支部）定例探鳥会にグループ参加する企画を織り込む。
- 秋の学園祭にクラブとして出展する、そのための準備を夏ころから始める。
- 懇親会を計画して会員の親睦・交流を深める。

■今年度の活動内容

- ◎5/29「長良川ふれあいの森」 ◎11/11「学園祭ブース出展」 ◎12/12「森林公園」
- ◎2/8「木曾川左岸」 ◎3/14「牧野が池緑地」

### ②写真クラブ

■現登録者数 45名 ■会費 1,000円

■活動方針

- 自然の景観・生物、これを取り巻く生活環境等を撮影し作品作りを楽しむ。
- 活動への参加を通じて会員相互の交流と親睦をはかる。

■今年度の活動内容

- ◎4/9「総会・枝垂れ桃の里」 ◎5/19・22・29「初歩の写真教室」
- ◎7/18「揖斐川薬草の里」 ◎9/10「木曾川鵜飼」 ◎10/8「常滑やきもの散策道」
- ◎11/11「学園祭ブース出展・ワークショップ」 ◎3/11「名古屋市農業センター」

### ③自然体験クラブ

■現登録者数 59名 ■会費 1,000円

■活動方針

- クラブ員が59名と多いが、年に四回の全体行事として四つの組で担当する。

■目標

- 様々な自然体験を通して自然に親しみ、会員相互の親睦を図り楽しむ。

■今年度の活動内容

- ◎5/22「田植え体験・田舎暮らし」 ◎9/12「和紙工芸館・矢作ダム」
- ◎2/7 御在所岳 ◎3/25「ワイルドフラワー」

### ④地質クラブ

■現登録者数 57名 ■会費 1,000円

■活動方針

- 現地観察会にて、東海地方の地質の成り立ちを学ぶ。
- 現地観察会を年四回開催する。

■今年度の活動内容

- ◎鳥羽と伊勢地区の中央構造線外帯の地質観察
- ◎10/1「みたけの森地質観察」
- ◎1/7「金華山のベルム紀～三畳紀境界付近の地質観察」
- ◎3/25「美濃帯の地質観察」

#### ⑤植物クラブ

■現登録者数 51名 ■会費 1,000円

##### ■活動方針

- 楽しく、有意義で親睦を深めるクラブを作る。
- 年間6回の観察会を行う。

##### ■今年度の活動内容

- ◎5/14「愛知県森林公園」
- ◎6/11「天生湿原」
- ◎7/23「伊吹山」
- ◎10/1「山路の森」
- ◎11/14「山門水源の森」
- ◎3/11「東山植物園・総会」

#### ⑥植物アートクラブ

■現登録者数 16名 ■会費 3,000円

##### ■活動方針

- たくさんの絵を見て、絵を描きたいという気持ちを高揚させましょう。
- 月ごとに課題を設けその内容に沿った作品を仕上げ、全員での観賞会講師の講評・助言を通じ資質の向上・親睦をはかる。

##### ■目標

- それぞれの課題に挑戦しレベルアップを目指す。

##### ■今年度の活動内容

- ◎4/24「細密画の自習」
- ◎5/22「葉や花の細密描写」
- ◎6/12「六月の花巡り」
- ◎6/26「彩色技法」
- ◎7/24「彩色技法」
- ◎8/27・9/25「絵具の色と発色」
- ◎10/23「モチーフの植物描く」
- ◎11/27「丸い物を描く」
- ◎12/18「花を実物より大きく描く」
- ◎1/22「花だけ描く」
- ◎2/27「画用紙の大きさを変えて描く」
- ◎3/26「発表会」

#### ⑦ふふふ・キラキラクラブ

■現登録者数 23名 ■会費 1,000円

##### ■活動方針

- 活動の目的であります『ふふふ』の笑顔を持って会員相互の交流と親睦をはかり、『キラキラ』と輝く人生を見つけましょう。

##### ■目標

- 「森・里・川・町・海」に関連して、食を通して楽しみ相互交流をはかる。
- 発表会：年に一回、会員の「ふふふ」結果を、自分だけで独占するのではなく、楽しみを会員相互に分ちあう。

##### ■今年度の活動内容

- ◎5月31日「蒲郡・生命の海科学館見学とホテルでフレンチ」
- ◎9月27日「清須城とビール工場見学」
- ◎11月29日「中山道・鵜沼宿散策と各務野自然遺産森の観察」
- ◎2月8日「コハクチョウ・オシドリの観察」

#### ⑧句詠クラブ

■現登録者数 12名 ■会費 1,000円

##### ■活動方針

- 新クラブであり、且つ大半の人が俳句の素人軍団のため、毎月一回（基本は第一金曜日）、勉強会を実施しその魅力、楽しみを高め、作句に慣れる。
- 自然界の魅力を詠み、全員の句を学園祭でブース展示することを目指す。

##### ■今年度の活動内容

- ◎勉強会「5/30・7/4・8/1・9/5」
- ◎後期はフィールドにて句詠会

## ⑤自然環境保全事業

### 自然保護部

#### ■森林公園整備科

平成26年度は整備地(8.2ha)の内C地区を中心に森林整備活動を実践。

◇実施日 第2・第4木曜日

◇登録者 36名

◇活動内容 ●植生調査 ●除伐 ●希少植物の保護 ●下草整備  
●枯葉・落葉整備 ●観察会

◇年間活動日 17日(延べ413名)

◇その他

(1) 基礎科の体験講座を担当・・・10月9日、11月13日

(2) 高等科の体験講座を担当・・・12月2日

#### ■瀬戸里山整備科

今年度より新たな科として設立され、本格的に活動を開始した。また、一般財団法人・セブン・イレブン記念財団の助成金を受け、竹藪整備体験講座を全5回実施することができた。

◇実施日 第3土曜日

◇登録者 12名

◇活動場所 瀬戸市曾野町

◇活動内容

- ① どんな里山・竹林にしていくかを決定する＝全体1.5haを二分し、半分は筍掘りの出来る畑とし、残る半分は竹を皆伐し、雑木林とする。
- ② 整備地の地図の作成と区割りを決定する＝完了
- ③ 作業の習熟と技術のアップを目指す＝継続テーマ
- ④ 活動報告書を作成する＝毎回作成中。今後も継続
- ⑤ 連絡網を作成する＝スタッフによるメールを使用した連絡を実施中
- ⑥ 学園祭への出展を目指す＝一部の科員に依頼しての出展とした為、今後は科内での講習会等により、科全体での出展を図る。
- ⑦ 竹林・里山について学習する＝セブン・イレブン助成講座により一応の終結とするが引き続きのテーマとする。
- ⑧ セブン・イレブン助成金を受け、5回の体験学習を実施＝完了(延べ49名参加)

## ⑥その他目的を達成するために必要な事業

該当事業なし

# ＜第2号議案＞ 平成26年度収支決算報告

## 平成26年度(第8期)活動計算書

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

特定非営利活動法人東海自然学園

科 目	金額(単位:円)		備 考
<b>I 経常収益</b>			
<b>1 受取会費</b>			
正会員受取入会金	0		
正会員受取会費	115,000		年会費
利用会員受取会費	981,000	1,096,000	年会費
<b>2 受取寄付金</b>			
受取寄付金	515,403	515,403	あいおい損保様
<b>3 受取助成金</b>			
受取助成金	461,397	461,397	
<b>4 事業収益</b>			
自然活動リーダー養成講座事業収益	9,780,600		受講料、参加費等 受託料等
普及啓発事業収益	351,850		
調査研究事業収益	0		
政策についての企画提案事業収益	0		
自然環境保全事業収益	0		
その他目的達成するための事業収益	0	10,132,450	
<b>5 その他収益</b>			
受取利息	2,328		
雑収入	164,230	166,558	
<b>経常収益計</b>			12,371,808
<b>II 経常費用</b>			
<b>1 事業費</b>			
(1) 人件費			
給料手当	3,493,188		
通勤手当	138,380		
法定福利費	531,016		
<b>人件費計</b>	4,162,584		
(2) その他経費			
講師謝礼金	1,640,000		
教材費	828,834		
会場費	548,190		
広報費	651,639		
リーフレット代	341,492		
講師交通費	108,430		
スタッフ交通費	1,047,175		
消耗品費	215,143		
諸会費	8,000		
家賃	550,000		事務所家賃
接待交際費	2,580		
水道光熱費	124,477		
コピー機維持費	231,407		
保険料	128,977		
通信運搬費	146,773		
郵送料	456,233		
雑費	267,587		
<b>その他経費計</b>	7,296,937		
<b>事業費計</b>		11,459,521	
<b>2 管理費</b>			
(1) 人件費			
給料手当	153,600		会計担当給与
法定福利費	0		
<b>人件費計</b>	153,600		
(2) その他経費			
福利厚生費	30,000		
旅費交通費	9,720		
事務用品費	15,649		
租税公課	11,050		
外注委託費	38,260		会計支援料
支払手数料	30,000		税理士報酬
雑費	0		
<b>その他経費計</b>	134,679		
<b>管理費計</b>		288,279	
<b>経常費用計</b>			11,747,800
<b>当期経常増減額</b>			624,008
<b>III 経常外収益</b>			0
<b>IV 経常外費用</b>			0
<b>当期正味財産増減額</b>			624,008
<b>前期正味財産額</b>			6,689,861
<b>次期繰越財産額</b>			7,313,869

# 平成26年度(第8期)貸借対照表

平成27年3月31日現在

特定非営利活動法人東海自然学園

科 目		金 額(単位:円)	
I	資産の部		
	1 流動資産		
	現金預金	17,914,474	
	立替金	22,206	
	前払費用	221,470	
	未収入金	53,600	
	流動資産合計		18,211,750
	2 固定資産		
	資金	100,000	
	固定資産合計		100,000
	資産合計		18,311,750
II	負債の部		
	1 流動負債		
	未払金	387,014	
	前受金	10,550,000	
	預り金	60,867	
	流動負債合計		10,997,881
	2 固定負債		
	借入金	0	
	固定負債合計		0
	負債合計		10,997,881
III	正味財産の部		
	前期繰越正味財産額		6,689,861
	当期正味財産額		624,008
	正味財産合計		7,313,869
	負債及び正味財産合計		18,311,750

# 平成26年度(第8期)財産目録

平成26年3月31日現在

特定非営利活動法人東海自然学園

科 目		金 額(単位:円)	
I	資産の部		
	1 流動資産		
	現金	現金手元有高	86,010
	普通預金	三菱東京UFJ銀行植田支店	12,114,665
	普通預金	ゆうちょ銀行	3,711,000
	定期預金	三菱東京UFJ銀行植田支店	2,002,799
	立替金	バス代	22,206
	前払費用	次年度会場費他	221,470
	未収入金		53,600
	流動資産合計		18,211,750
	2 固定資産		
	資金	事務所賃借敷金	100,000
	固定資産合計		100,000
	資産合計		18,311,750
II	負債の部		
	1 流動負債		
	未払金	3月分給与	241,800
		3月分給与と月分社会保険料	32,410
		交通費他	112,804
	前受金	次年度分受講料、年会費	10,550,000
	預り金	源泉所得税、社会保険料	60,867
	流動負債合計		10,997,881
	2 固定負債		
	借入金		0
	固定負債合計		0
	負債合計		10,997,881
	正味財産合計		7,313,869

## 平成26年度(第8期)財務諸表の注記

特定非営利活動法人東海自然学園

### 1 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日、2011年11月20日一部改正 NPO法人会計基準協議会)による

### 2 事業費の内訳

(金額単位:円)

科 目	自然活動リーダー養成講座	普及啓発事業	調査研究事業	政策についての企画提案事業	自然環境保全事業	その他目的達成するための事業	合計
(1) 人件費							
給料手当	2,794,551	419,183	34,931	209,592	34,931	0	3,493,188
通勤手当	111,805	15,946	1,328	7,973	1,328		138,380
法定福利費	424,819	63,725	5,307	31,858	5,307		531,016
<b>人件費計</b>	<b>3,331,175</b>	<b>498,854</b>	<b>41,566</b>	<b>249,423</b>	<b>41,566</b>	<b>0</b>	<b>4,162,584</b>
(2) その他の経費							
講師謝礼金	1,590,000	0	0	0	50,000	0	1,640,000
教材費	493,405	38,769	0	0	296,660	0	828,834
会場費	507,390	40,800			0		548,190
広報費	651,639						651,639
リース代	341,492						341,492
講師交通費	105,130	0			3,300		108,430
スタッフ交通費	1,021,265	25,910			0	0	1,047,175
バス代		0					0
合宿費	0			0			0
消耗品費	137,297	1,376			76,470		215,143
雑費	267,587	0		0			267,587
家賃	440,000	66,000	5,500	33,000	5,500		550,000
接待交際費	2,065	310	25	155	25		2,580
水道光熱費	99,589	14,940	1,241	7,467	1,240		124,477
コピー機維持費	185,183	27,742	2,307	13,869	2,306		231,407
保険料	103,182	15,478	1,289	7,739	1,289		128,977
通信運搬費	117,426	17,617	1,462	8,807	1,461		146,773
郵送料	364,996	54,752	4,557	27,372	4,556		456,233
諸会費	6,400	960	80	480	80		8,000
<b>その他経費計</b>	<b>6,434,046</b>	<b>304,654</b>	<b>16,461</b>	<b>98,889</b>	<b>442,887</b>	<b>0</b>	<b>7,296,937</b>
<b>合 計</b>	<b>9,765,221</b>	<b>803,508</b>	<b>58,027</b>	<b>348,312</b>	<b>484,453</b>	<b>0</b>	<b>11,459,521</b>

監査報告書（別紙貼り付け）

## <第3号議案>

# 平成27年度事業計画

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

### 【平成27年度方針】

科の協働事業に挑戦し、多くの力と連携で学園全体を盛り上げる。

これまでは各科や部の中で各活動を終結させていたが、今年度は科協働での取り組みに挑戦し、より多くの人の力で、今までにない結果をだせるよう、連携力で学園を盛り上げる。

### ① 自然活動リーダーの養成講座事業

#### 東海シニア自然大学 講座部

##### ■基礎科

- ・担当スタッフの連携を深め、連絡を密にし、充実した内容で安全に運営する。
- ・高等科へのアピールを工夫し、進学率を高める。

◇担当 7名 (+アシスタント4名)

◇人数 全61名 (2クラス)

◇実施日 年間30日間 (隔週火曜日)

##### ◇計画内容

- ・年間カリキュラムの運営・進行。
- ・学園祭に向けてクラスの取り組み。
- ・各委員会の活動支援。
- ・振り返りなど受講生の評価を参考に、カリキュラムの改善や見直し。
- ・記録、報告書の作成。

##### ■高等科

- ・担当スタッフの連携を深め、連絡を密にし、充実した内容で安全に運営する。

◇担当 5名

◇人数 37名

◇実施日 金曜日 (不定期)

##### ◇計画内容

- ・年間30日間のカリキュラムの実施。
- ・学園祭に向けて、クラスの取り組みを支援するとともに基礎科への支援。
- ・各委員会の活動支援。
- ・振り返りなど受講生の評価を参考に、カリキュラムの改善や見直し。
- ・記録、報告書の作成。

##### ■カリキュラム選択科

- ・高等科受講生を含め40名を最大人数とし、選択科受け入れは最大3名。  
それ以上の希望がある場合は抽選とする。

◇人数 24名

##### ■専修科

- ・受講生を確保すべく、一部見直した、カリキュラムを安全最優先で計画通り実施する。  
また次年度以降受講生を安定的に確保するための見直しを継続する。

◇担当 3名

◇人数 1講座20名

- ◇実施日 不定期
- ◇計画内容 年間6講座、延べ11日間のカリキュラムの実施。
  - ①函南原生林と柿田川を訪ねる・・・1泊2日
  - ②乗鞍&千石園地で学ぶ「高山・亜高山植物」・・・1泊2日
  - ③クモ&トンボの不思議な生態・・・全2回
  - ④東海地区の湿地の成立ちと植生・・・全2回
  - ⑤東海地区の2つの極相林：ブナ林とシイ・カシ林を訪ねる・・・全2回
  - ⑥大人のための竹細工・・・全1回

**広報**

- ◇担当 4名
- ◇方針 積極的に新しい広報策を模索し、実践する。
- ◇目標
  - ① 東海自然学園の名前をより多くの人に知ってもらう。
  - ② 新期生募集にこだわらず、様々な方法で楽しみながら広報活動を実施する。
- ◇計画内容
  - ・ 広報ボランティアチームをつくり、多くの人たちで広く学園をPRできるよう努める。
  - ・ 既存の募集パンフレット以外に、気軽に配布できる手作りのパンフレットを作成する。
  - ・ 「フェス」の開催を企画に挑戦する。(集まった人、繋がった人への広報。取材や記事掲載での広報が目的)
  - ・ ホームページやパンフレットの新しいデザイナー協力者を探す。
  - ・ パンフレットの配布(2回/年)や体験入学の開催(1~2回/年)は継続実施する。

**② 普及啓発事業**

**環境教育部**

■環境教育科

- ◇担当 5名
- ◇方針
 

社会貢献することを目的とし、様々なインタープリテーション技術の取得、向上を目指す。また、利益を追及する事業のみではなく、利益につながらなくとも自身の向上や社会貢献価値のある事業を実施する。
- ◇27年度の目標
  - ① 技術や知識を高め合うため、講習会やアイデア会議などを積極的に取り入れる。
  - ② クラフト以外の「伝え方」に挑戦する。
- ◇計画内容
  - ・ 毎月1回だった定例活動を2回に増やし、年間計画に沿って活動する。(第1・4水曜)
  - ・ 保管してある素材やこれまでの実績(作品見本)などを整理し、使いやすく見やすくする。
  - ・ 講習会を2回は実施する。
  - ・ なごや環境大学(下期)への企画申請をし、企画から準備・実践までを皆で挑戦する。
  - ・ 戸田川緑地でのイベント、大曽根商店街夏祭りへは引き続きブース出展する。

**③ 調査研究事業**

**研究部**

■自然観察科

自然観察と自然に関する座学テーマについて、自分自身の学習意欲を高め、(リーダーとして)

社会貢献することを目的に、それぞれのコースにて学習・研究・実践を行う。

#### レギュラーコース

- ◇担当 3名
- ◇実施日 第2、4月曜日
- ◇人数 42名（新加入：12名 キャリアコースへの転出：7名）
- ◇活動計画 ◎座学：9回 ◎フィールド：12回  
班体制基本の活動で推進する。

#### キャリアコース

- ◇実施日 原則として第2・4月曜日
- ◇担当 1人
- ◇人数 19名
- ◇目標
  - ①レギュラーコースで学んだ経験を活かし、観察会の企画・運営等総合力の向上を図る。
  - ②学園の一つの組織としての認識を高め、学園活動に積極的に参画する。
- ◇実施事項
  - ①新たに7名の参加者を迎え、年間22回の講座を実施する。
  - ②年間4回、一般の方を対象とした「天白公園自然観察会」を継続開催する。
  - ③基礎科からの受託講座「冬の森の観察」を、築水の森に変更して、継続して実施する。

### ④政策についての企画提案事業

#### 事業部

##### ■新規事業科

- ◇担当 4名
- ◇目的 新規事業を開拓し、学園の社会貢献活動に協力すると共に、収益改善に貢献する。
- ◇内容
  - 各種団体、企業の助成金情報を常に調査し、一覧にして今後活かせるようにする。
  - これまでの事業活動を通して蓄積した知識、技術を最大限活用した社会貢献活動に資するよう、関係部署との連携の基に情報収集・分析を行う。

#### 交流部

- ◇担当 4名
- ◇年間目標
  - OB会員の活性化、親睦を目的とした新たな企画や仕組みを考案し積極的に実施する。
  - クラブが安全、健全に実施されるよう活動を把握しサポートする。
- ◇実施内容
  - 上半期中にOB交流ツアーを企画実施する。（案：山梨県「北杜市オオムラサキセンター」）
  - クラブ長会議を開催する。（6月予定）
- ◇各クラブの活動計画  
「野鳥クラブ」
  - 現登録30名 ○会費1,000円／年
  - 活動方針
    - 探鳥会は年に4回開催を計画する。
    - 内容は探鳥観察を中心とする企画に、植物を楽しむ散策を織り交ぜる。

- 探鳥会には適宜案内人を依頼する。
- 日本野鳥の会（愛知県支部）定例探鳥会にグループ参加する企画を織む。
- 秋の学園祭にクラブとして出展する、そのための準備を夏ころから始る。
- 懇親会を計画して会員の親睦・交流を深める。

○活動予定

- ◎5/10「海上の森」      ◎11/「学園祭ブース出展」      ◎11/1「東山植物園」  
◎1/10「藤前干潟」      ◎2/28「平和公園 / 総会」

「写真クラブ」

○現登録50名      ○会費 1.000円

○活動方針

- 自然の景観・生物、これを取り巻く生活環境等を撮影し作品作りを楽しむ。
- 活動への参加を通じて会員相互の交流と親睦をはかる。

○活動予定

- ①公共施設を利用しての初のクラブ展を実施する。
  - ・期間：平成28年2月16日～20日の5日間
  - ・場所：名古屋市民ギャラリー栄（中区役所ビル）
- ②撮影会及び例会を8回計画
- ③写真教室を3回計画して初心者レベルアップをはかる。
- ④学園祭では、ブース展示とワークショップへの対応を全員参加で計画する。

「自然体験クラブ」

○現登録72名      ○会費 1.000円

○活動方針

- クラブ員が72名と多いが、年に5回の全体行事として5つの組で担当する。

○目標

- 様々な自然体験を通して自然に親しみ、会員相互の親睦を図り楽しむ。

○活動予定

- \*4～6月 3組    \*7～9月 4組    \*8～10月 5組  
\*10～12月 1組    \*1～3月 2組

「地質クラブ」

○現登録61名      ○会費 1.000円

○活動方針

- 現地観察会にて、東海地方の地質の成り立ちを学ぶ。

○活動予定

- 現地観察会を年4回開催する。
- 夏季に博物館にて勉強会を開催する。

「植物クラブ」

○現登録69名      ○会費 1.000円

○活動方針

- 楽しく、有意義で親睦を深めるクラブを作る。
- 年間7回の観察会を行う。

○活動予定

- 7組の班構成を決定、各班毎に観察会の企画を立案し実施する。  
（実施月：5月、6月、7月、8月、10月、11月、3月）

「植物アートクラブ」

○現登録20名      ○会費 3.000円

○活動方針

- たくさんの絵を鑑賞し、絵を描きたいという気持ちを高める。
- 描きたいという気持ちを大切にして、対象物（植物）をどのように表現したら良いのか、それを追求していく。
- 月ごとの課題に沿って作品を仕上げ、全員で作品鑑賞、講師の講評・助言を通じ、資

質の向上・親睦を図っていく。

○目標

- 月ごとの課題に取り組み、それぞれのベルアップを目指す。

○活動予定

基本的に毎月第4木曜日を活動日とする。

#### 「ふふふキラキラクラブ」

○現登録37名      ○会費1,000円

○活動方針

- 活動の目的であります『ふふふ』の笑顔を持って会員相互の交流と親睦をはかり、『キラキラ』と輝く人生を見つけましょう。

○目標

- 「森・里・川・町・海」に関連して、食を通して楽しみ相互交流をはかる。
- 発表会：年に一回、会員の「ふふふ」結果を、自分だけで独占するのではなく、楽しみを会員相互に分ちあう。

○活動予定

四季折々の自然を満喫し、「花より団子」を楽しむ。

#### 「自然句詠クラブ」

○現登録17名      ○会費1,000円

○活動方針

- 自然を愛で、観て感性を豊かにする  
17文字にその感性を表現し、古来からの日本語の意味、深さを味わう。
- 句会・吟行、懇親会等を通してメンバー同士の親睦を高める。

○活動予定

- 月1回句会を開く、4半期に1回に吟行を実施する、句会毎の優秀作を中心に年間の句集を作成する。

#### 「湿地クラブ」

○現登録11名      ○会費1,000円

○活動方針

- 本年度は、観察湿地を1カ所決めて四季毎に4回観察会を行い観察湿地の四季毎の変化及び動植物及び昆虫を観察する。

○活動予定

- 春日井市築水池周囲を観察場所とする。
- 他に武豊壺町湿地・尾張旭市吉賀池の観察をする。

## ⑤自然環境保全事業

### 自然保護部

#### ■森林公園整備科

◇担当            3名

◇目標人員        36名

◇活動日           第2・第4木曜日

◇年間目標

第4次3ヵ年計画の1年目にあたり、「植生豊かな森づくりを目指す森林整備活動、学習、

人材育成」を目標とし、C地区を中心に整備活動を行なう。

◇活動目標

- (1) 安全作業の遵守、事故防止の徹底。
- (2) 安全作業及び事故防止マニュアルの作成。
- (3) 学習会（ロープワーク、スリング実習など）・観察会の実施。
- (4) 科員の交流・親睦を深める。

■瀬戸里山整備科

◇担当 2名

◇実施日 第3土曜日（中止の場合は予備日として第4土曜日）

◇登録者 22名

◇活動場所 瀬戸市曾野町

◇活動目標

- ① 竹林・雑木林に対する理解を深める（随時会合を開く）
- ② 基礎的な技術力・理解力を高める
- ③ 科全体での学園祭出展を目指す。
- ④ 安全第一で整備活動を進める。

⑥その他目標を達成するために必要な事業

該当事業計画なし

## 平成27年度収支予算計画

(平成27年4月1日から平成28年3月31日)

(単位:円)

科 目	金 額	
<b>I 経常収益</b>		
1. 受取会費		
正会員受取会費		
利用会員受取会費		1,175,000
2. 受取寄付金	400,000	400,000
3. 受取助成金収入		
4. 事業収入		
自然活動リーダー養成講座収入	9,674,000	
普及啓発事業収入	350,000	
自然環境保全事業収入	0	
その他の事業収入	0	10,024,000
5. その他の収益		
雑収入	90,000	
受取利息	0	90,000
経常収益計		11,689,000
<b>II 経常費用</b>		
1. 事業費		
(1)人件費		
給与手当	3500000	
交通費	140000	
法定福利費	600000	
人件費計	4240000	
(2)その他経費		
謝礼金	1,600,000	
教材費	300,000	
会場費	560,000	
広報費	650,000	
リーフレット代	360,000	
講師交通費	100,000	
スタッフ交通費	1,580,000	
バス代	0	
合宿費	0	
消耗品費	150000	
雑費	200,000	
家賃	600,000	
接待交際費	30000	
光熱費	130,000	
コピー機リース代	160,000	
保険料	126,490	
通信費	150,000	
郵送費	400,000	
諸会費	30,000	
その他経費計	7,126,490	
事業費計		11,366,490
2. 管理費		
(1)人件費	180,000	
人件費計	180,000	
(2)その他の経費		
旅費交通費	30,000	
事務用費	40,000	
租税公課	345,000	
外注委託費	70,000	
雑費	50,000	
その他の経費	535,000	
管理費計		715,000
経常費用計		12,081,490
当期正味財産増減額		▲ 392,490
前期繰越正味財産額		7,313,869
次期繰越正味財産		6,921,379

＜第5号議案＞  
平成27年度役員選任

平成27年度の役員として下記の方を選任致します。

平成27年度役員

- ・ 代表理事 横井 進
- ・ 筆頭理事 大熊 琢巳
- ・ 理事 上田 元己
- ・ 理事 古田 雅子
- ・ 理事 浅井 留美子
- ・ 理事 小田 光生
- ・ 理事 吉村 至衛
- ・ 理事 伊藤 準二
- ・ 理事 福岡 潔
- ・ 監事 藤田 昌大

その他報告事項

上記役員以外の平成27年度正会員

- ◆ 松本 雅代（五期生）
- ◆ 朝田 泰（七期生）
- ◆ 佐合 ひとみ（七期生）
- ◆ 浅井 昭枝（八期生）
- ◆ 亀田 鎮夫（八期生）
- ◆ 安田 早苗（八期生）
- ◆ 吉田 誠司（八期生）
- ◆ 井土 清司（九期生）
- ◆ 高島 裕美子（九期生）
- ◆ 長屋 孝幸（九期生）
- ◆ 葉山 裕三（九期生）
- ◆ 石川 明博（十期生）
- ◆ 札野 真理子（十期生）
- ◆ 藤原 純子（十期生）
- ◆ 森下 保男（十期生）